



# とよしん

## 海外貿易投資ニュース



第30号  
発行日:2013.10.31

### タイビジネスミッションを実施(中部経済産業局・グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会・6信用金庫)

6信用金庫連携アジア会※は、取引先中小企業の実践的な海外展開支援を目的に、去る、9月16日～20日の日程で、中部経済産業局とグレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会(GNIC)との連携で、タイビジネスミッションを実施いたしました。海外ミッションは同会初めての試みでしたが、愛知・岐阜・三重から海外展開に取り組む8社の中小企業が参加、現地政府機関、日系既進出企業等を訪問、関係者との意見交換を行うとともに、現地ローカル企業とのビジネスマッチングを実施いたしました。

※6信用金庫連携アジア会=豊橋信用金庫・豊川信用金庫・西尾信用金庫・桑名信用金庫・東濃信用金庫・豊田信用金庫。

■日程:2013年9月16日(月)～9月20日(金)

■スケジュール:9月16日(月) 出発、移動日

- 9月17日(火) ①JETROバンコクセンター ②ワンスタート・ワンストップ投資センター(OSOS) ③バンコク銀行
- 9月18日(水) ①泰日工業大学 ②トヨタモーター・アジア・パシフィックエンジニアリング & マニュファクチャリング(株)(T-MAP) ③アマタナコーン工業団地(大田テクノパーク、ミノタイランド)
- 9月19日(木) ①タイ現地企業とのビジネスマッチング・ネットワーキング ②タイ政府国家経済社会開発委員会 松島顧問との面談
- 9月20日(金) 移動日、帰国

#### ◆OSOS投資センター訪問

OSOS投資センターは、2009年11月、タイ投資委員会(BOI)の一部として機能し、投資の関連する多数の政府機関職員が一箇所で対応するセンターとして発足。国内外問わず、タイにおける投資を検討する関係者はサービスを受けられる。

(面談概要)・タイはFTAを積極的に推進、法人税もASEANではシンガポールの次に低く、相続税はない。

・BOIは投資政策を推進、製造業は外国人の100%出資が可能。また、権利恩典としては、8年間の法人税免除、機械・原材料の輸入関税の減免、公共費の2倍までを控除等がある。

・BOIでは、特に日本に対し、自動車、航空、電子・電気部品、機械(\*人の代替含む)、食品加工、環境配慮型製品、代替・省エネ機器等の投資案件を期待。

・自動車部品では、オートランスミッション、CVT、ハイブリッドのモーター、金型では、鍛造、ダイカスト金型等、現地でニーズがある。

・2015年1月～新しい投資戦略がスタート、ゾーン制度に代わり、業種(インフラ、基礎、医療、代替エネルギー、食品・農産物加工、自動車・輸送機器、電子電機等)で支援。



(ワンストップ・ワンスタート投資センターにて撮影)

#### ◆泰日工業大学訪問

泰日工業大学は、2006年9月に設置、翌年から学生の募集を開始。母体が、日本の生産、生産管理技術を導入し、着実に成果をあげてきた研修団体である泰日技術振興協会ということもあり、一定レベル以上の学生を確保。中部地域との関係では、名古屋工業大学、豊田工業大学及び大同大学と提携関係あり。

(面談概要)・学生数3600人、工学部、情報学部、経営学部、会計、金融、工業経営、上級企業経営学の大学院課程、社会人向け、中小企業診断士養成課程もあり。日本語教育に力を入れる一方、英語も(TOEICは500-600レベル)。

・就職先は3/4が製造業、ボーナスが良いのが理由。50%が日系企業に。但し、自動車系超大手が人気で、デンソーレベルでも人気がない。なお、インターンシップ先への就職率は約5%。

・日系中堅・中小企業への就職促進が課題。優秀な学生には、AODCのレクチャー、東大阪の企業への派遣等も行っているが難しい。また、ジョブフェアという企業と学生のお見合いも実施、中堅・中小企業も参加してるが、なかなか進まない。

(出所:グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会「連携タイミッション開催報告書」(次項へつづく))



(泰日工業大学で学生と質疑応答)

タイビジネスミッションを実施(中部経済産業局・グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会・6信用金庫)

◆TMAP訪問

TMAPは、アジア・オセアニア地域のコア拠点。域内のR&D拠点とも連携、新興国向け乗用車の開発を推進。なお、タイでは、ヴィオスという新興国専用コンパクトカーが生産・販売されており、タイを拠点に今後、世界80カ国に輸出予定。

(面談概要)・今年4月から、東アジア、韓国、台湾、オセアニアについては、担当エリアから外れたが、サポートは引き続き実施。

・インド、ASEANで、アジアパシフィック地域の3/4のマーケット。特にバンコクの自動車の普及率は日本並み。GDPもアメリカ等と同等。

・ASEANでは、現調を促進。2012年の販売は約900万台、うち20%は当該地域。シンガポールが販売、タイが生産の統括拠点。特にタイでは、ICTという人材育成を積極的に実施。マネージメントは現地人がやれることが目標(日本におけるトヨタの部長クラス、アジアでは現在18名。将来的には本社役員も)。



(TMAP会議室内にてディスカッション)

◆アマタナコーン工業団地訪問

アマタナコーン工業団地は、バンコクの南東約60km、チョンブリ県に位置する工業団地。現在の開発規模は、約900万平米、入居企業は約600社で、うち日系企業は6割。自動車部品、電機、消費財、軽工業関連の企業が入居。自営でパイプラインを設営し、天然ガスを燃料とした火力発電所を備えるなどインフラ整備も進んでいる。

(訪問概要)・スワンナプーム空港、レムチャパン港など新しいインフラが東に移ったため、団地の建設もそちらの方へ。現在フェーズ9まで工事が完了、現在はフェーズ10に着手、70%は埋まっている状況。

・水道、電気等インフラはアマタ社で整備。

・失業率は低いが人材流動は激しい。農村部出身者など、仕事に馴染めず帰農するケースも。

・現地人目線でのマネージメントが重要。定着のため、社員旅行等福利厚生の実施も重要。

・会計、技術、経営の3つができる日本人現地経営者はほとんどいない。こうした部分も、特に中小企業にとっては、進出にあたってのネックとなるケースが多い。

◆大田テクノパーク:タイ国で最大の工業団地開発運営貴業「AMATAコーポレーションPCL 社」が全面出資し2006年6月に開設、中小企業向け賃貸集合工場として運営。

(設立の背景) AMATA社は、早くから大田区中小企業の高付工業技術力に注目しており、それを導入することでタイ国工業の自立・発展につなげたいと考えていた。一方(公財)大田区産業振興協会では、ASEANで最も製造業が発達しているタイ国に製造現場を持つことを希望する大田区中小企業のニーズに応えるためOTPプロジェクトに連携を開始した。

◆タイ現地企業とのビジネスマッチング・ネットワークキング



タイへの進出、或いは既進出日系に対する、現地企業とのマッチング及びネットワークキングを実施。日本及び現地から参加した8社の日系企業は、現地企業と合計52件の商談を行いました。本取り組みを契機に、関係企業の更なる展開拡大に繋げるとともに、マッチング後、定期的な参加企業への聞き取り等を実施、進捗を把握するとともに、必要となる支援を実施していく。また、今回の事業を契機に、現地政府関係者とのパイプを更に太くするため、今後、あらゆる機会を捉えた継続的な交流を検討していく。

参加企業からは、「タイ企業の製品をバンコクのオフィスにて採用する予定、価格と商品は後日バンコクのショールームで打ち合わせを後日していく。」「参加企業との情報交換が今後のビジネスへの参考になった。」等のコメントがあり、実施後のアンケート調査では、「今後コンタクト継続の見込みあり」という反応が約10件回収できた。



(個別マッチングの様子)

(マッチングの様子：全体)

(出所:グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会「連携タイミッション開催報告書」)

！！外貨両替は弊庫へ 米ドルは全店で、17通貨は本店で取扱中！！

10月は次のセミナー等をご案内させていただきました。

セミナー等名称	開催地	主催者
貿易投資相談会(個別相談)	名古屋	信金中央金庫
ホーチミン市VIE-PAN TECHNO PARK企業誘致説明会	名古屋	ホーチミン市人民委員会ほか
日本産農水産物・食品輸出商談会inベトナム2013	ホーチミン	ジェトロ
メッセナゴヤ2013「グローバルセミナー&サロン」	名古屋	メッセナゴヤ実行委員会
ベトナム・ナムディン省投資環境セミナー	名古屋	ベトナム・ナムディン省人民委員会ほか
メキシコ アグアスカリエンテス州投資セミナー	名古屋	メキシコ大使館商務部PROMEXICO
ロシアビジネスセミナー	名古屋	欧州復興開発銀行、国際協力銀行ほか



国際業務部

〒471-8601  
愛知県豊田市元城町1-48

電話 0565-36-1381

FAX 0565-36-1213

URL <http://www.toyoshin.co.jp>